

小学校

2学年

s 2-2

たし算とひき算

(たすのかな?ひくのかな?)

【ねらい】

加法と減法の相互関係について理解し、式を用いて説明できる。

【特徴】

- ◇ 3口の加減の問題づくりで活用できます。
- ◇ ブラインドをクリックすることによって、窓が開き、中の人数を確認できます。

【関連する単元】



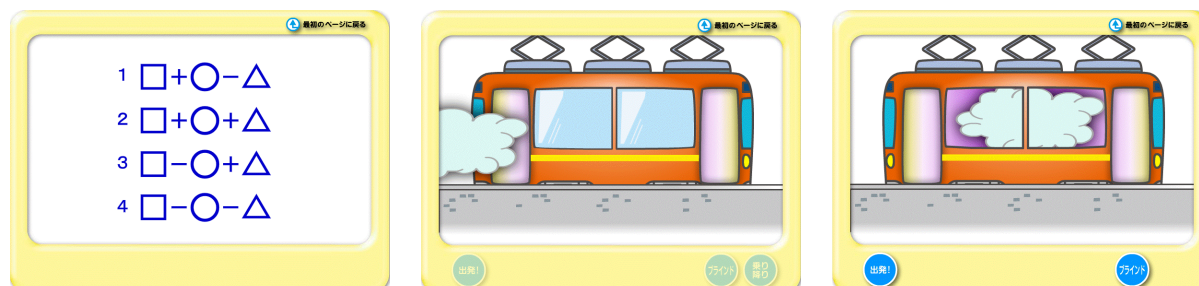
【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証



段階的に考察することによって、式を読み取る力を育みます

段階毎に絵や数を隠したり、表したりすることができるため、問題場面を段階的に確認しながら捉えさせることができます。

- ◇ ブラインドをクリックし、窓を開けて人間の絵で数を確認します。
- ◇ 乗り降りをクリックし、電車に乗ったのか降りたのかなど、その時々様子をノートに言葉や式で表現させます。
- ◇ 場面毎に式で表すことができるので、段階的な式の構造を確認していきます。
- ◇ 同様の式になる問題づくりをして紹介し、解き合う活動を行います。



3口の計算における数の加減を動的に見せることにより、問題の場面を理解し、式に表現する力を育みます

加減の様子を雲の出入りで動的に表現されているため、より深い場面理解を促します。

〔活用例〕

- ◇ 1~4の問題づくりをします。
- ◇ 子どもが発表する際、画面を動かし、加減の様子を視覚的に捉えさせます。
- ◇ 問題場面にあった式を選び、問題と照らし合わせながら確認します。